

## 平成28年度第1回松山地域協議会会議録

日 時 平成28年5月13日(金) 午後1時30分～4時00分  
場 所 松嶺コミュニティセンター講堂  
出席委員 12名  
1号委員 平 向 與志雄、齋 藤 吉 男、日下部 美喜子、後 藤 吉 史、  
小 松 ノリ子、三 浦 芳 和、後 藤 俊、小 田 和 夫、  
莊 司 邦、村 山 安 子  
2号委員 小 野 與 一  
3号委員 日 野 健 吾  
欠席委員 3名  
1号委員 五十嵐 典 子、佐 藤 玲 子、佐 藤 豊 和

酒田市出席者 教育委員会企画管理課長 桐 澤 聡  
学区改編推進主幹 長 村 正 弘  
企画管理課長補佐兼施設係長 藤 井 正 弘  
松山総合支所長兼地域振興課長 樋 渡 由  
建設産業課長 石 塚 裕  
地域振興課長補佐 柿 崎 弘 志  
地域振興課長補佐兼地域振興係長 出 嶋 亨  
地域振興課主査 石 川 亮 一

傍 聴 者 1名  
須 貝 彰

### 【議事日程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事録署名人の指名
- 4 議 事

### 【報告事項】

- (1) 松山地域3小学校統合に向けた進捗状況について
- (2) 平成27年度地域協議会市長報告について
- (3) 平成28年度支所管内の主な事業について

## 【協議事項】

- (1) 拠点事業について
- (2) 国内交流の今後の方向性について

- 5 その他
- 6 閉 会

## 1 開 会

支 所 長 ただいまから平成28年度第1回松山地域協議会を開催いたします。

本日は、五十嵐典子委員、佐藤玲子委員、佐藤豊和委員が欠席されております。本日の会議につきましては、概ね1時間30分を目途としておりますのでよろしくをお願いいたします。それでは小田会長よりご挨拶をお願いいたします。

## 2 会長あいさつ

小 田 会 長 大変素晴らしい天候に恵まれた今日この日、農家も田植えが始まって忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。今日の内容は事前に示されたもので目を通していただいたものだと思いますが、これに関して日頃地域での声を代弁しながら協議を進めて参りたいと思います。忌憚のない活発なご意見をお願いします。

## 3 議事録署名人の選出

支 所 長 議事録署名人につきましては、酒田市地域協議会設置条例施行規則第5条第2項及び申し合わせ事項により、後藤 俊 委員 をお願いいたします。また、会議の議長につきましては、酒田市地域協議会設置条例第6条第2項の規定により、小田会長をお願いいたします。

## 4 議 事

小 田 会 長 それでは議事に入らせていただきます。次第に沿ってお諮りします。まず報告事項であります、「(1) 松山地域3小学校統合に向けた進捗状況について」、教育委員会からの説明がございます。よろしく申し上げます。

長村主幹・藤井補佐 ～資料により説明～

小 田 会 長 ただいま説明がありましたが、統合準備委員会にメンバーを連ねている方は、ほぼおわかりかと思いますが、それ以外の方でご質問、ご提言等あれば頂戴いたします。

小 野 委 員 1点目は駐車場の件です。当初から授業参観等、学校行事に行く場合、駐車

場は絶対に必要ですので確実に確保していただきたい。2点目は学校の入口の件です。普通、家に入るときは玄関から入るように学校であれば校門から入ります。子どもたちの安全性を考え、住宅地の方にはスクールバスが入れず、裏に停めるといのはわかりますが、裏側から入ることに違和感があるものですから、そのところが議論にならなかったのでしょうか。また東側から入る子どもはすぐ駐車場に入ることになるものですから、果たしてそれで良いのかどうか伺います。3点目はバスの乗降場所の件です。その当時、私は申し上げませんでした。スクールバス体制となると、各集落を一巡しますが、小さい子どもたちが安全に登校できるための乗降場所が気にかかります。これについても調査いただき、改善すべきところは改善していくことでお願いします。

小田会長 今、即答はできないと思いますので、検討課題としていただきたいと思います。

小野委員 ただ、今の話は議論にならなかったのかだけでも伺いたい。

桐澤課長 2月に統合準備委員会を開催しました。その時はここまで正確な図面ではなかったのですが、ラフな配置図をお示しして統合準備委員会の皆さんから意見をいただきました。その中の一つとして、校舎の東側から来る子どもたちについては、ぐるっとグラウンドを回って、正門に回るといった遠回りになるような校舎の配置はしないでほしいといった要望をいただきました。そのため、スクールバスの乗降場所についても東側の方に確保できそうだとということもありましたので、バスを乗り降りするお子さん、東側の市道の方から通学してくるお子さんについてはあまり遠回りのならないショートカットの通路を確保すべきではないかといった考え方で、今回の体育館とか普通教室等の脇を通る通路にしたわけです。確かに正門は通らないわけですが、皆同じ昇降口には入られるようにしたいと考えています。

小田会長 よろしいですか。他に。小松委員。

小松委員 関連して、子どもたちが昇降口に入るまでですが、県道の方から入ってくる子どもたちは駐車している後ろの方を回ってきます。ここに柵みたいなものが全然無いのに通らせることがちょっと心配です。もう一点、昨今、温暖化の影響で気温が世界中で上昇傾向にあります。教室にクーラーは入らないのでしょうか。お伺いします。

桐澤課長 駐車場の中の通路について、チェーンみたいなもので分けるという案も検討したこともありますが、そうすると駐車場の除雪ができなくなります。そこでカラー舗装で対応していきたいと考えています。なお、安全性の確保は大事なことなので、何か他に対策がないかを検討させていただきます。

小松委員 ぜひ検討をお願いします。

- 桐澤課長　　また、校舎内の冷房の件ですが、市内の学校は共通して、校長室や職員室、特定の特別教室にはエアコンを入れますが、普通の教室に入れているところはありません。したがって他の学校と同様の対応をさせていただきたいと思  
います。
- 小松委員　　後々のことを考えると普通教室にもクーラーが必要になってくることある  
かと思いますが、そうなった場合、簡単に入れることはできるのですか。
- 桐澤課長　　市内の学校も含めて普通教室の冷房化について、現時点では全くの白紙になっ  
ておりますが、どうしても必要になった場合にはクーラーの後付けも可能であ  
ると考えています。
- 小松委員　　わかりました。
- 小野委員　　先ほど自分が申し上げたことはぜひ検討していただくことをお願いしたい。
- 桐澤課長　　駐車場とスクールバス乗降場所の件ですね。
- 小田会長　　他に。日下部委員。
- 日下部委員　　私は学校のすぐ横に住んでおりますが、冬に体育館の屋根から落ちる雪は結構  
な量になります。東側にスクールバスを止めて、そこから昇降口まで行く場合  
に、体育館の下を通ることになります。積雪量が多い日など、もし屋根から雪  
が落ちてきたときにそこを歩いているというのは危険ではないでしょうか。東  
側からの導線について降雪時の除雪はどのように対応しますか。
- 桐澤課長　　体育館屋根の落雪対策については、緩やかな勾配にして端に雪が落ちないよう  
に箱型の樋をつけます。また、通路については校務員から除雪をしていただき  
ます。
- 日下部委員　　それは手作業ですか。
- 桐澤課長　　機械で行います。
- 小田会長　　他に。日野委員。
- 日野委員　　駐車場の件ですが、北庄内森林組合の隣を将来、市に提供するとの話は出まし  
たか。ここに20から30台の駐車ができるような将来構想があれば良いと思  
いますが如何ですか。
- 長村主幹　　北庄内森林組合については市有地ということで酒田市の土地を組合に貸して  
いるものです。この契約は平成30年3月末をもって切れるので、更地にして  
返還していただき、駐車場整備を図り一定の台数を確保したいと考えています。  
今現在考えているのは周辺の市有地を中心に駐車場を確保していくということで  
関係課と協議を進めているところです。
- 小田会長　　よろしいですか。他に。日下部委員。
- 日下部委員　　グラウンドの西側に貯水槽がありますが、その面は段差があります。雨が降

ると暗渠排水で流れている水路がありますが、そこがすごく溢れてしまいます。土も一緒に流れますので、貯水槽の後ろ側のグラウンドから降りてきたところが詰まっているような感じで全然水はけが良くありません。南側の道路沿いのところもグラウンドの高さと道路の高さが一緒になったところから水が溢れてきます。そこでもっと深い側溝を付けていただくことをお願いします。

桐澤課長 防火貯水槽のところの排水についてはこれからのグラウンドの設計の中で対策を講じて参ります。あと南側の側溝というのは、道路の側溝が溢れるということですか。

日下部委員 いいえ。暗渠排水になったものがグラウンドから直接流れてくるものです。道路を横切って、溢れた水が、自分の家の畑と道路の間にある細い側溝に流れますが、水が飲めず、そこら辺、水びたしになってしまいます。

桐澤課長 現場を見ながら対策を考えさせていただきたいと思います。

日下部委員 平成31年にならないと直らないわけですか。

桐澤課長 そうです。側溝整備だけを先行して行うことはできませんので。

日下部委員 わかりました。

小田会長 今の件は強い要望とさせていただきます。次、齋藤委員。

齋藤委員 スクールバスの件ですが、内郷から来る場合、松嶺を通過して山寺を通過して入るルートになるのでしょうか、それとも、国道を通るルートになるのでしょうか。

長村主幹 ルートはまだ明確には決まっていません。これから検討していきますので、様々ご意見を頂戴できればと思います。

齋藤委員 次に駐車場の件ですが、台数70台～80台を予定しているとのことでしたが、民家のポンプ小屋のところは交渉で何とかならないのでしょうか。

桐澤課長 ポンプ小屋のある敷地は民地になっています。現状としては市有地で駐車場を確保していきたいと考えていますので、ポンプ場のところは考えていません。ただ貯水槽の脇のところはうまく使えないか協議しているところです。

小田会長 他に。荘司委員。

荘司委員 統合にあたり、各学校にある財産、寄贈いただいた絵画や彫刻などですが、どのような取扱いになりますか。今までの統合した学校の例等があればご教示いただきたいと思います。

長村主幹 今までの事例を見ますと、統合校にそのまま持っていく、コミュニティで受け入れをするなどがありました。こちらでもその仕訳をしていくことになると思います。

荘司委員 学校に寄贈したものは市の財産にはなっていないということですか。

長村主幹 市の財産にはなっていますが、統合に先立ち、収納スペースの問題など様々な

課題が出てきますので、その取扱いについて検討するものです。

庄司委員 気持ちがあって寄贈してくださった人たちの意を損なわないような対応をしていただくことを要望します。

桐澤課長 学校とも相談の上、対応を協議します。

小田会長 他に無いようですので、この案件については終了します。

#### 休憩

小田会長 「(2)平成27年度地域協議会市長報告について」事務局より説明をお願いします。

支所長 ～資料1-1、資料1-2により説明～

小田会長 何かご質問あればお願いします。

平向委員 資料1-1の「別紙」はどこにあるのか。また、どういう意見を申し上げたのか伺いたい。

支所長 資料1-2「市長報告会会議録」に記載のとおり、協議会の報告と意見を申し上げたということです。

小田会長 地域協議会の内容だけでなく、松岡の火災は、松山地域にとって大きなダメージになったといった話もさせていただきました。

小野委員 会議録を見ると、発言は自由と思いますが、平田ばかりがしゃべっているようですので、八幡、松山にも発言の機会を与えるような進行をしてほしかったなといった印象を受けました。

支所長 今年度は松山が進行担当ですので気をつけたいと思います。

小田会長 次に「(3)平成28年度支所管内の主な事業について」事務局より説明をお願いします。

支所長・建設産業課長 ～資料2に基づき説明～

小田会長 報告事項として、これまでの進捗状況を説明いただきましたが、何かわからない点あればお願いします。村山委員。

村山委員 松山の宝推進事業での9名というのは何が9名なのか再度説明をお願いします。

支所長 5月28日に行われる松山町歩きの参加者が今のところ9名ということです。

村山委員 これに関連して、3月16日号の松山広報誌で城下町松山美化サポーターの登録募集を行っていたようでしたが、2カ月経過しているので、どれだけのサポーターが集まったのか、美化サポーターの活動としてどれくらいの頻度でどんなことをするのか概要を教えてくださいたいと思います。

支所長 美化サポーターについては支所が登録になっており、新たに募集したところ1名の参加がありました。活動としては砂山公園の斜面の草刈り作業を行うということで、のこぎりと鎌を頂戴しています。汚れている斜面については、若松建設

の地域貢献活動で、笹刈りと去年松くい虫対策で刈った松の枝の撤去を行っていただきました。次は草の刈り込みを計画しています。美化サポーターのメンバーには支所のほか、若松建設のような企業も登録になっています。

村山委員 鎌やのこぎりを持って草刈りということになると女性などは引っこんでしまうと思います。社会福祉協議会で以前に各施設のボランティア活動を募集した時に、給食、配食、買物とかであれば女性もしやすいのですが、輪番制で女性に草刈りを行ってほしいといったときには、家でやったことがないことから尻込みされて頓挫したことがありました。そこでソフトな美化活動なども取り入れたらどうでしょうか。例えば、花いっぱい運動なども取り入れて募集すれば、女性も少しは参加できるのではないかと思います。

小田会長 美化サポーターの捉え方として、私も以前、子ども会で行っていましたが、ゴミ拾いから様々な活動内容がありますので、男だから、女だからといった分け方をしない方が良くと思います。

村山委員 今回はゴミ拾い、次は草刈りといったように都度活動内容を分けて、広くある程度の人数が集まるまで続けていった方が、松山の宝と謳っているからには浸透していくのかなと思われます。決して今回1名しか来なかったからといって事業が頓挫しないようにお願いしたいと思います。

小田会長 他にありませんか。齋藤委員。

齋藤委員 消防設備更新の耐震性貯水槽建設は、県道の方からクレーンで全部できるでしょうか。それとも裏から入っていくのでしょうか。裏からとなると畑がありますので、お伺いしました。

支所長 まだ具体的には決まっています。

三浦委員 学校統合後の地見興屋小学校、内郷小学校の跡地利用についてわかっている範囲で結構ですので教えていただきたい。

小田会長 発言を受理してしかるべく検討願います。

次に協議事項に入ります。「(1) 拠点事業について」説明をお願いします。

支所長 ~資料に基づき説明~

小田会長 ただいまの件について、ご質問ございませんか。

後藤俊委員 いきいきくらぶと同時開催の「満腹市」にある小規模作業所というのは、店ではなくどこかの施設という意味ですか。

支所長 「いっば」などの社会福祉事業所のことです。

後藤俊委員 そこで作っているものを販売するということですか。

支所長 そうです。18日は弁当も販売の予定です。できれば「フジストア」とか「まつぱっくり」などにも加わってもらいたいと考えています。

後藤俊委員 これに合わせて、ふれあい広場の店舗の方にも広がっていければ面白いと思います。

支 所 長 さらに、社会福祉協議会のとったアンケートの中に「買い物に困っている」ということもありましたので、そのようなことにも対応できるような品揃えにして、買っていただけるようなシステムを作っていきたいと考えています。

小 田 会 長 構想の段階ですが、ぜひ煮詰めていっていただきたいと思います。

支 所 長 この件については、実現に向けて関係課職員との打合せを行っているところです。

小 田 会 長 バス運行の件で。小野委員。

小 野 委 員 交通手段の確保のことでのお話でしたが、高齢化社会の運転免許のあり方、地域内の移動手段を考えた場合、デマンド往復で600円ということですが、この間の新聞に、酒田市るんるんバス、福祉乗合バスとわかりやすいように商工港湾課がわかりやすいように出しましたが、八幡では4コースをぐるぐる回っている、買い物もできる、医者にも行ける、平田も山楯から出ており移動手段があります。しかしながら松山にはありません。小さな拠点づくりをしていく上で、16万5千円のバスでさえ困難な状況になっています。自分は南部に住んでいますが公共交通機関はありません。もし免許が無かったらと考えるときに、高齢化社会における移動手段については見直しをする必要があるのではないかと思います。

小 田 会 長 他には。平向委員。

平 向 委 員 確認ですが、松山地域の中で活性化していこうということで、小さな拠点を松嶺地区ということで考えているのですか。それで、健康福祉センターを中心とした、バスを寄せて周辺の買物を含めてということで、賑やかな地域づくりをしていこうというのが主眼ということでしょうか。そうすると南部コミセンの事務所を跡地利用で改修するということは、地見興屋地区を拠点と考えると改修整備することができるのかといった部分の整理ができない。松嶺地区に拠点をおいて、当該地区にある遊休施設を活用して何かやろうというのか、それとも、松嶺地区は中心であるけれども周辺にも拠点をおきながら有機的に結ぶのか。その辺の考え方について伺いたい。

柿 崎 補 佐 小さな拠点づくりの基本的な考え方については各小学校単位となっています。な南部地区であれば地見興屋小学校、内郷地区であれば内郷小学校、松嶺地区であれば松山小学校といった具合です。そしてそれぞれを補完する、例えば松嶺地区にある郵便局、病院、ストアなどを各拠点につくることはできません。したがって、そのそれぞれの地域を補完するものとするので、そこにコミュニティ交通手段等が必要になってきます。そこで各小学校区域で拠点化として何ができる

のかということになります。南部には地域おこし協力隊が配置されることになっていますので、協力員を含めて考えていくことになります。南部には外部から人が来るということで、比較的動きやすいものになっています。そこで一度、南部で考えていただき、その後に小学校が廃校になってしまう内郷を南部の事例を参考にしながら考えていければと思っています。

平 向 委 員 統合で一本になる今しかできないということですね。

柿 崎 補 佐 小さな拠点事業の中ではメインになる補助事業はあまりありません。小学校の改修に係る経費、その打合せ経費というものはありますが、運営費に係るものというのはほとんどありません。したがって、コミュニティ交通にも補助適用がほとんどないことから、政策決定が必要だということになります。但し、政策決定をした以上、空バスを走らせるわけにはいきませんので、拠点に投げ返して乗る手立てを考えなければならないことになります。そこで小さな拠点としてどういうことができるのかといったことから始めていかないとそこから先は何も進まないことになります。

平 向 委 員 ソフト事業であれば地域とか行政外でも取り組めるといったメリットがありますが、ハード整備については、あくまで市の建物ですから、お金をもらって勝手に改造することはできないはずで。このように誤解を招くような情報を流すと大変なことになりますので、地域に説明するときはしっかりと課題を整理してからということになります。

小 田 会 長 しかし、もう手をつけているわけでしょう。

柿 崎 補 佐 調査をしているといった段階です。いきいきくらぶの中でバスにどのくらい乗るかを1年かけて行うことにしています。最初は50人くらいでした。このまま50人で経過すれば問題ないのですが、そのときで乗車人数にバラツキの出ることがあると思いますので、そのところを整理しながら、乗車人数の均衡を図るために、どのような仕掛けが必要なのかも考えていく必要があります。

小 田 会 長 ぜひ前向きに推進していただきたいと思います。他に。協議事項ですので、どんどん要望を出して下さい。

支 所 長 保育園バスの運行委託ということで600万円ほど予算計上していますが、乗車人数は南部・山寺方面から8名、内郷方面から5名と子どもが少ないといった現状があります。他にも学童保育園バスの委託、そしてデマンドタクシーの経費などを入れれば、交通手段については結構お金を投入しておりますので、今後どのようにしていくかといった課題も整理していく必要があります。

小 田 会 長 まずは、今の状況で拠点事業をすすめていくというご理解でよろしいですね。続きまして「(2) 国内交流事業の今後の方向性について」説明をお願いします。

支 所 長 志布志市との交流については先日、校長先生の集まりの中で話をした際に、継続してもらいたい旨の要望を受けました。市長も交流を大事にしたいと考えていますので、志布志との交流については青少年交流のみならず物販交流もあることから、できれば来年度に向けて拡大して予算化できればと考えています。また、国外交流の話になりますが、アメリカとの交流事業については、定員を超える14名の応募があり、国際化の時代で親の理解も深まっているのかなと思っるところですが、選考で定員の8名まで絞る予定です。以前、第3中学校の父兄から、東部中学校だけ海外への派遣機会が2回あるというのは不公平であるといった苦情が寄せられました。たしかに子どもから見れば不公平感は否めないことから、支所としては事業継続の方向で向かい、市民交流室から、全市的な考え方についてのイニシアティブをとっていただいて、不公平感の無いものにしていきたいと考えています。

小 田 会 長 ご意見ありませんか。以前、受け入れるのが大変で子どもの派遣を親が止めたといった話がありました。このことを踏まえ、地域に受け入れボランティア組織を作ったらどうでしょうか。

小 野 委 員 派遣したら受け入れる、即ち、ギブアンドテイクであるから、それだけの意思決定をして申込みをしているのではないのでしょうか。

小 田 会 長 派遣した家庭には必ず受け入れをしてもらおうといった義務付けをしてしまうとまた他所の地域からの苦情の対象になります。例えば、東部中学校の区域に住めば応募権は発生することになりますが、そのように親は考えるのでしょうか。そこでこの地域には受け入れボランティア体制が構築されているとなっからとなれば、苦情を言われても対抗できるものと考えます。

支 所 長 東部中学校の校長先生の本音として、1年生でアメリカに派遣してしまうと、アメリカに行ってしまったということで、その後の英語に対するモチベーションが下がってしまうことがあります。モチベーションを保つ意味では、1、2年生の時に受け入れをして3年生でご褒美として派遣するといった形にしたいということでした。また、派遣された子どもの家庭で受け入れを行う際に、中学校を卒業しているとなると、高校でのクラブ活動などでホームステイした生徒と一緒に過ごす時間が無いといったことも懸念されます。

後 藤 委 員 受け入れするときに子どもが既に中学校を卒業してしまっているとなると大変であることはわかります。また、はばたきの窓口が東部中学校にまで広がった経過の中でいうと、東部中学校だけというのは説明が付きません。また、派遣の時は中学校の先生が随行しますので、受け入れの時にも協力して一緒にやっていたいただきたいということも地域協議会としての話題としたいと考えます。

支 所 長 東部中学校としては、いろいろな事業があつて忙しいことから先生の派遣には消極的であり、職員だけの随行でも特に問題はないものと思います。かつては職員だけの随行ということもありました。

小 田 会 長 他に。小野委員。

小 野 委 員 ホームステイをして交流することは一夜にしてできるものではありません。このような体制を作ることは非常に大変なことです。これはこれまでの実績において、松山の中で熟成し、子どもたちの教育に反映させているものです。募集方法については、公平性の面でいろいろな課題がありますが、あくまで相手があつてこのような事業が成立しているという根本のところは大事にしたいということをお願い、支所としては事業を継続する考え方であるということによろしいのではないのでしょうか。

平 向 委 員 関連して、前回の協議会における地域調整監の話で、中学校の見解としては、廃校になって統合になったのだから姉妹校との提携については白紙に戻るということでありましたが、契約論の話からいけば疑義があるということでした。この辺の整理もどこかでつけていただく必要があると思っています。この前提がないと、面倒なことはどんどん避けられていくことになっていくと思います。あくまで姉妹提携がベースになって交流事業が成立しています。実際に、合併するときにそれぞれの旧町時代に持っていた事業をどうするかといった議論があり、その経過を踏まえて今に至っているわけですので、いまさらこの事業だけ不公平感があるといわれるのはおかしい話です。

小 田 会 長 合併当時の議論の経過については調べていただきたい。次は市長を呼んで話をしたいと思います。

後 藤 委 員 市長を呼んで話をするときには地域協議会として意見のまとまる内容があつて、市長にやってほしいことを積み上げてからの方が合理的だと考えます。市長はあちこちで話を聞いているので、地域協議会としてあげたいものをあげる方がよいと思います。

小 田 会 長 それではこれで交流事業の関係については終了します。これは継続審議になるかと思います。その他、何かあればお願いします。日野委員。

日 野 委 員 松山の宝については、この間の会報に非常にきめ細かく編集担当者が書いていたのでとてもためになりました。会員になりたい人はどこに申し込みばよろしいのでしょうか。

支 所 長 地域振興課です。

日 野 委 員 その目的は、この町がいろいろな面で拠点、いわゆる、生きがいのある心の支えとなる町という意味になるかと思います。いろいろな面でキャンペーンと

して聞こえていきますと日本全国からお祭りとか旅行で誘客できるのではないかといい大きな夢があると思いました。自分はシニアパソコンスクールに行っており、そのスクール生と講師、あわせて40名から50名になると思いますが、松山に来ることになりましたので、デジタルカメラで松山の宝を撮り、いろいろなところで宣伝を行えば、松山の活性化につながるものと思います。

小田会長 他にありますか。無いようですので、これを持ちまして議事を終了いたします。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

## 5. その他

後藤俊委員より、4月1日よりまちづくりネット松山で指定管理を任された歴史公園と眺海の森観光施設の経過についての報告

(歴史公園)

○伝承館の企画展示については独自の運営委員を組織して年5回の企画展示を実施する予定。

(眺海の森)

○さんさんのリニューアルを実施、料理長も代わり料理のメニューも変わった。

○外山ロッジでも食事を出せるようにする。

質疑事項から

平向委員 情報発信はどのように行うのですか。

後藤俊委員 酒田まちづくり開発と共同で運営のホームページで行っています。

後藤吉委員 指定管理を受けてやっていこうとする部分は何ですか。

後藤俊委員 パック旅行などを企画し、歴史公園も眺海の森も一体として人を呼び込みたいと考えている。

荘司委員 4月16日から17日の桜が満開の時に、花の城下町「まつやま」探訪がありましたが、この日に伝承館が展示替えで休みであったので非常に残念であった。また、城址館では呈茶会が開かれていたと思うが催事板にも何も書いてないことから戻っていく人がいたのではないかと思う。

後藤俊委員 今後は善処していきたい。

## 6. 閉会